

うるおい



題字はキッチンスタッフ 中村淑子です

第242号

編集・発行 ケアハウス 清水苑
福井県福井市大森町第7号1番地
TEL (0776) 98 - 5790
FAX (0776) 98 - 5780

<http://www.shimizu-en.info>
E-mail : info@shimizu-en.info

清水苑 R2.フィードバック



令和2年度の一番の出来事は、やはり新型コロナウイルス感染症です。感染拡大のリスクにより、出来ること、出来ない事が大きく左右された年でした。4月からのワクチン接種により日常を取り戻せるように、令和3年に持ち越し、新たな課題として取り組む事も含め、G・S（ゼネラルスタッフ）で振り返りをしました。

・良食の取り組み

- ①管理栄養士(G・S)の一人が10月1日付けで育休より復帰し、管理栄養士3人体制になった。
- ②お惣菜の取り組み。コロナ禍でのテイクアウトは一般家庭で流行ると思われる。
- ③朝食の追加メニュー。男性・女性問わず利用する方が多く、喜ばれている。
- ④スチコンの入れ替えによる業務時間短縮。

良かったこと

・感染症対策を行い、入居者、職員の感染は無かった

- ①懇談会を二部制に変更して実施。
- ②各階毎に食堂利用。
- ③新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金の活用(うるおい第241号参照)。
- ④外部からの訪問規制。

・保証人関連

- ①保証人の高齢化による交代、後見人制度の活用。
- ②緊急時以外の連絡事項について、メールでやり取りが出来た(任意)。

・防犯カメラの設置

- ①夜間の入居者の動きが確認出来る。
- ②館内で何かしら問題があった場合でもすぐに確認出来る。
- ③職員がどこにいるのか把握出来る。
- ④気分的にも安心。

・ラジオ体操の時間を変更(15時から14時半)により、EVの昇降がスムーズになった。15時からの入浴時間と重なりEV前で密になること、EVに人数制限を設けている(5名)為、待ち時間が長かった。

・避難訓練を夜間帯を主に切り替えて実施
日中の動きは入居者の皆さんもスタッフも避難時間を目標範囲内にできるようになりました。夜間は入居者の皆さんが自主的に避難して頂くことが多いので、実行しているところ です。

・各居室内の安全点検の実施
緊急時以外、入居者の皆さんの居室内を隅々まで確認することが無かったのですが、今回確認をして破損や劣化など状態が確認できた。

・職員育成より接遇マナーについて意識改革に努め、少しずつ意識変化が見られるようになった。

・行事の変更より喫茶を月2回実施、とても好評である。苑内でのゲームやクラブ(しほり染め)等、普段出来ない事に挑戦でき、取り組み事ができた。

・ドライブレコーダーを社用車(3台)に取り付けた。前後左右録画しているので、運転中の安全確保となる。

これからの課題

・良食の取り組み

- ①残食の多いメニュー改善(うるおい第239号参照)の取り組みを行ったが、まだ残食が多く改善が必要なので定期的に集計・検討をする。
- ②お惣菜の一人分量(ボリューム)について調整が必要だと感じる。家庭の量に合わせていく。地域周知に努める。(地域配食事業計画にて)
- ③スチコンの入れ替えをしたが、機能をフル活用してメニューの多様化に繋げる。

・入居者 ご家族様コミュニケーション

- ①家族懇談会が出来なかった。
- ②共同の場(食堂、EV、ロビー)の入居者マナーについて理解不足であった。
- ③認知症入居者の増加に伴い、どのように対応していけば良いか他スタッフ共有も含めて多面的に検討できると良い。
- ④保証人との連絡事項についてはメールでのやり取りを必須にした方が良く、勤めている保証人が多いので、迷惑にならないよう緊急時以外はメールでやり取りを行う。

・行事

年間行事計画に基づいて行事の推進が出来なかった。感染症対策も踏まえて、令和3年度の課題。各階対抗ゲームを行ってみたが、時間もかかり全員参加も難しい等の理由で継続出来なかった。

・ISOの更新

業務に対してISO(基本)を取り組んでいるが、自己本位(自分流)に業務内容を変更している事に対しての職員育成が課題である。

・ドライブレコーダー
動いている時しか作動しない。
SDカードを定期的買い替えないといけない。
データの整理が必要

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響に左右される事が予想できます。振り替えりの中で良かった事を継続し、良くなかった事に対して改善を重ね、入居者の皆さんの有終老後に努めたいと思います。



シリーズ 第145回 皆様への問いかけ

【ルール】

皆さんは家族の中で、または職場の中で、最低限のルール(決めごと)があると思います。それは、自分が思っている事と多少のズレはあるとしても、決めたことを実行してみる。それが社会生活のエチケットだと思えます。

決められたルールがあり、自主的に行う姿勢が大事だと思えますが、固定観念にしばられて、決めごとを最初から否定し、実行しない…また、逆に決めごとを実行していたのに、急に変えてしまう。そんな光景を目の当たりにし、とても残念に思うことがありました。一人ひとりがルールの意義や目的を理解した上で、それらを主体的に遵守するからこそ、よりよい社会環境をつくっていきけるのではないのでしょうか。

(Y. F)

施設長の呟き # 134

有終老後 = グッドリビング

良食の歴史を辿る —— 良食実践
つまり有終老後=グッドリビングにつきる
この一年は
良食の歴史を辿る —— 良食実践
この一句のみであります。



メールセキュリティで安心



メールは情報を相手に伝えるだけでなく、ファイル添付なども行うことができる伝達システムで、活用すれば情報共有の利便性が増します。清水苑では業務の中で活用しているので、沢山の方との伝達手段の一つとして利用しています。しかし、メールの利便性が高いことで送受信をするため悪用する事も可能です。個人よりも企業において被害が拡大する可能性があります。その理由として扱うデータの中に顧客の電話番号や住所など重要なものが含まれるからです。近年の警視庁の調査によると事件や事故の被害に遭うことが多い感染ルートとして電子メールが大半を占めています。もし顧客のデータが流出すれば、沢山の方に迷惑をかけることになり信頼が損なわれる可能性もあります。実際にウイルスメールから情報漏洩をしてしまった企業も多く、対策している企業の中には開封しない社員教育などを行っている所もあります。また、リスクを低くするためにウイルス対策ができるアプリケーションを導入するところも珍しくありません。

そこで清水苑のメールウイルス対策としてメールセキュリティシステムを導入しました。このシステムの導入により、悪質なメールの受信、情報漏洩やウェブサイトのアクセスでウイルスに感染するリスクを低減させることが可能になりました。今までと比べて安全に業務の中でメールを活用できるようになりました。ご家族様や企業様との連絡ツールとして安心して連絡を取り合う事が出来るようになりましたのでまだメールアドレスの登録がお済みでない方は下記のアドレスのご登録を宜しくお願いします。

■清水苑メールアドレス

info@shimizu-en.info

※ご相談、お問い合わせ
受け付けています。

